

大豊町の概要

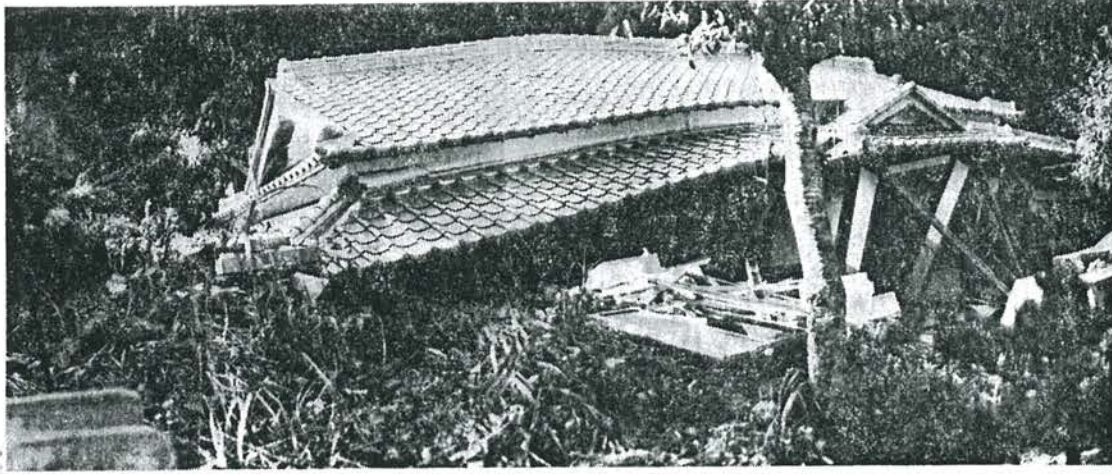
位置 東経 133度37分 北緯 33度56分
面積 320.54平方杆 東西 32杆
南北 28杆 部落数 87
人口 11,682 男 5,626 女 6,056
世帯数 3,653 (8月末現在住民基本台帳調)



昭和49年10月18日発行

全世帯配布

編集 館報大豊編集委員会
発行 大豊町中央公民館
印刷 高知印刷株式会社



台風の惨害

連続パンチで無残なツメ跡

被害総額十一億三千百余万元

「防災の日」の九月一日、十六号台風は最悪のコースで高知県中央部を直撃、八日には十八号台風による集中豪雨が容赦なく猛威をふるった。大豊町災害対策本部のまとめによると、死者一名、軽傷二名、家屋全半壊二十三棟をはじめ、農林土木関係等、被害総額十一億三千四百一十一万三千円に達し、集中豪雨の恐ろしさをまざまざとみせつけられた。被害内訳次の通り。なお国會議員や地元西岡議員もお見舞いと現地調査を行った。

写真説明 (上)裏山の土砂が崩壊して押しつぶされた住宅(立川三谷) (下)立川地区の道路の被害は特にひどく、県道はいたるところ寸断された(成川・刈谷間)

人的被害では、岩原にいた徳島県の出張警三さんが死亡、同岩原の向井茂尾さん、畑山幸喜さんが軽傷、

住家では全壊九棟(八世帯十七人)、半壊十四棟(十四世帯四十一人)、一部破損二棟(二世帯六人、十六号台風)、床上浸水十六棟(十二世帯三十九人)、床上浸水百七十四棟(百二十七世帯四百四十八人)、非住家一棟(公共建物)、その他五棟(うち三棟土台が台風)、田畑流失三・一畧、文教施設一ヶ所、道路百五十二ヶ

所(うち十三ヶ所十六号台風、橋梁七ヶ所、河川十三ヶ所、砂防三十一ヶ所、水道五ヶ所、崖くずれ七十一ヶ所(うち四ヶ所十六号台風)、その他鉄道の不通、通信回線の被害等となっており、文教、農林水産、公共土木施設をはじめ、農林産物その他被害総額は、十一億三千四百一十一万三千円(うち十六号台風被害額七千二百六十三万三千円)となった。

なお両台風の罹災者は次の方々で、その殆んどは十八号台風の豪雨によるものである。住宅全壊二川井勝美(立川三谷)、小笠原菊重(仁尾ケ内)、前田緑(仁尾ケ内)、丁野萬満(日通)、高橋末子(磯谷)、向井茂尾(岩原)、千頭正年(東根ケ内)、秋葉久子(中央)

住宅その他の半壊二平尾国登(磯谷)、上村正男、松岡栄(日通)、小笠原喜代蔵(仁尾ケ内)、佐々木義貴(穴内二区)、小笠原末年(目付)、高島田正清(天王上)、河野徳晴(西庭谷)、豊永益喜(東庭谷)、坂本義喜(船戸)、畑山敏光、秋山熊男、平石秋延(岩原)、豊永照美(西根ケ内)

謹しんで

災害のお見舞い申し上げます

台風十六号及び十八号の連続襲来により、被害を受けられました町民の皆様は、心からお見舞いを申し上げます。町と致しましては、国、県の協力を得ながら一日も早い復興対策を講じ、住民生活の安定に努力してまいりますので、町民各位の御協力をお願い申し上げます。

大豊町長 門田盛一郎
大豊町議会議長 寺石由雄

土砂取りの作業のひととき、子供の通学について協議する父兄たち(仁尾ケ内茶室)



立川川の氾濫で流失した水田(川口梅の本)



小松金広さん宅は床上浸水、葛蒲谷橋は流失して架けられた仮橋(成川刈谷間)



第3回 大豊町民体育祭

とき 11月3日(日)文化の日 9時30分
ところ 大豊町立東豊永小学校グラウンド
(注)グラウンドの都合で、2日が雨天の場合は11月4日(月)に、また3日が雨天の場合は11月10日(日)に行ないます。
・大杉中学校ブラスバンドの吹奏音楽に合わせて入場行進を行ないます。
・控席にはプラカードを立ててあります。
・会場周辺への車輛乗入れは、地元消防団、警察の指示に従って下さい。駐車場は当日示してあります。
・控席にはイス等は出しませんので各自敷物を持参下さい。
・食堂は地元婦人会が開きます。
・高等家政学校がまんとう200個を販売します。(寿司 350円、チキン寿司 200円)

体育の秋

第4回 嶺北総合美術展

出品部門 洋画・日本画・書道・彫塑・写真・工芸
作品の搬入 10月26日(土)大豊町中央公民館へご持参下さい。
会期 11月3日～5日 大川村会場
11月8日～10日 木川村会場
11月13日～17日 土佐町会場
11月20日～24日 木山町会場
11月27日～12月1日 大豊町中央公民館
審査 10月29日 大川村中央公民館
表彰 11月3日 //

芸術の秋

